

# 設計開発部門改革の第一歩

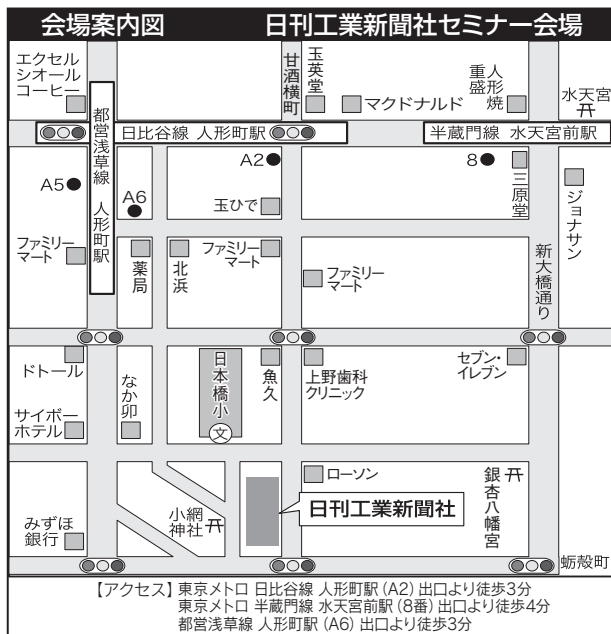
～製品コストは設計段階で決まる！設計部門の大改革！

**日時** 2018年 **8月1日(水)** 10:00～17:00  
(9:30 受付開始、休憩 12:30～13:30)

**主催**  日刊工業新聞社

**会場** 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム  
東京都中央区日本橋小網町 14-1 (住生日本橋小網町ビル)

**受講料** **43,200円**(資料含む、消費税込)  
\*同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円



## 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

### 【アクセス】

東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩3分、都営浅草線『人形町駅』A6出口 徒歩3分

東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

### ●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。

なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
(株)日刊工業新聞社	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

### ●申込先 日刊工業新聞社 業務局 イベント事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)  
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215  
e-mail : j-seminar@media.nikkan.co.jp

## 受講申込書

### 8/1 設計業務の改革

お申し込みは **FAX 03-5644-7215**

■受講料：43,200円 (資料含む、消費税込) \*同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円

※振込手数料は貴社にご負担ください。

会社名		業種	
氏名	フリガナ _____	TEL	
	部署・役職 _____	FAX	
所在地	〒 _____		
	E-mail : _____		

※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は  チェックをしてください。

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

No.180143

### 個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

# 開催にあたり

## ブラックボックスになりがちな設計開発部門を大改革!!

多くの企業では、設計部門が抱える問題として、「設計リードタイムが長く、出図はいつも締切りギリギリ」、「担当者任せとなり設計プロセス・進捗が見えない」、「蓄積された技術の整備不足のため設計の標準化が進まない」などの声をよく耳にします。これらの問題を解決するには、設計部門の改革しかありません。

しかし現状では、改革するにしても「どこから手を付けて良いのかわからない」、「日常業務に追われ、改革するための時間も取れない」などを理由に、改革の手が及んでいません。

本セミナーでは、従来型のVE手法や改善レベルでは行えない大幅なリードタイム短縮・コストダウンの方法を、設計部門改革のテクニックとして解説いたします。

まずは本セミナーへのご参加により、改革の第一歩を踏み出しませんか。

## 講師

(株)アステックコンサルティング コンサルティング本部 コンサルタント **荻原 豪** 氏

**【略歴】** 大手家電メーカーにおいて商品開発、製造部門、管理部門の責任者として要職を歴任すると共に、同社海外工場の収益改善指導を行い多大な成果を上げた。  
その後、(株)アステックコンサルティングに入社。  
最先端の現場で培われた確かな知識と最新の手法を駆使し、間接部門の業務改善、製造部門の生産性向上、在庫削減等を実現し、企業の収益向上に大きく貢献。経験に裏付けされた的確な指導は評価が高く、粘り強く問題に取り組む姿勢と熱意は、真に現場を変えるコンサルタントとして高い評価を得ている。

## プログラム

### 1. 『設計部門が抱える問題点』

- (1) 設計部門の実態はどうなっているのか
- (2) 設計部門には多くのものが求められている
- (3) 従来に比べ、設計者の業務負荷が増大している
- (4) 設計部門のミスは、非常に大きなロスに直結する
- (5) 必要技術の高まりと比べ、人材育成の補強が不十分である

### 2. 『設計の基本思想があるか』

- (1) 設計部門の効率が低い理由
- (2) 事実が正確にとらえられているか
- (3) 設計部門の役割と機能を定義する
- (4) 設計の基本思想確立と個別設計思想を構築する

### 3. 『設計標準化の4つの考え方』

- (1) 標準化とは制限をかけること
- (2) モノ、手順、考え方、条件の標準化
- (3) 新図を書かない仕組み作り
- (4) 設計フローとチェックポイント管理
- (5) 思考のブラックボックスのオープン化

### 4. 『設計による具体的なコストダウンのテクニック』

- (1) 原材料費を引き下げるためのチェックポイント
- (2) 加工工数を下げる設計の行い方
- (3) 設計で製造コストを下げる取組み
- (4) 見えないムダを削減する

### 5. 『事例研究』